

経営比較分析表（令和6年度決算）

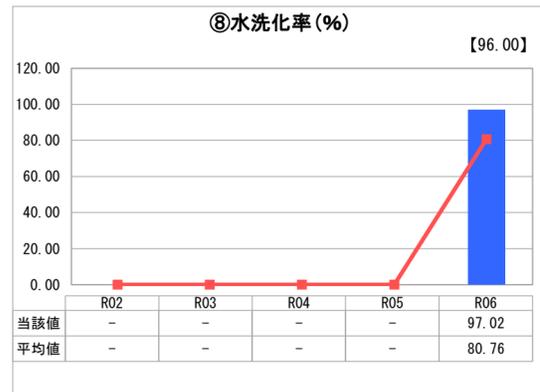
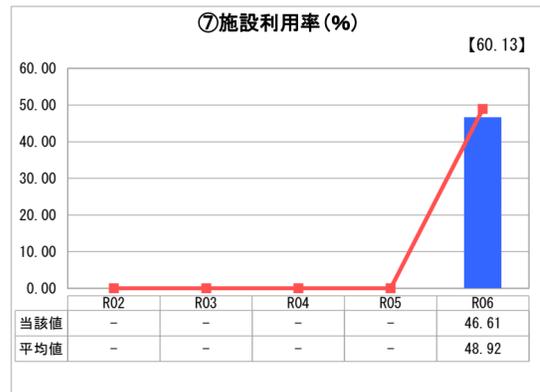
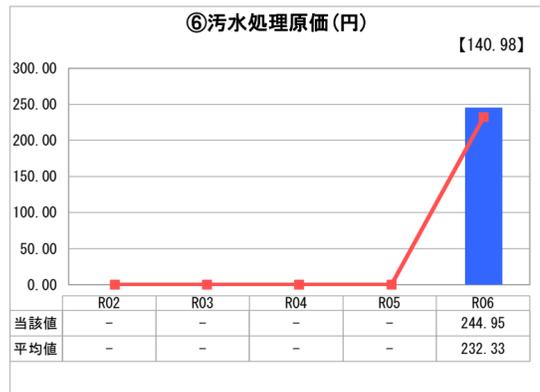
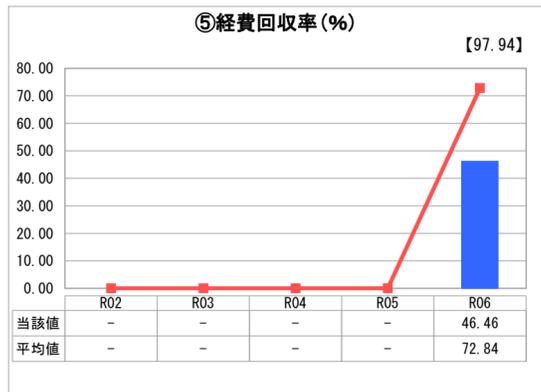
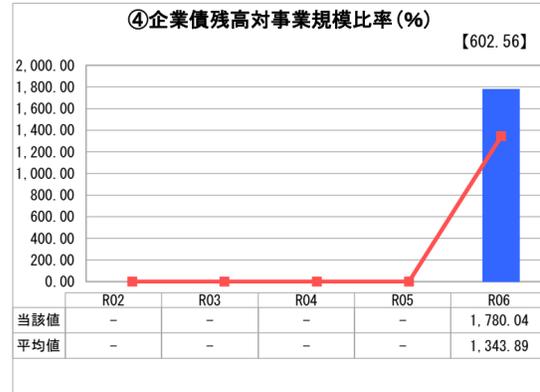
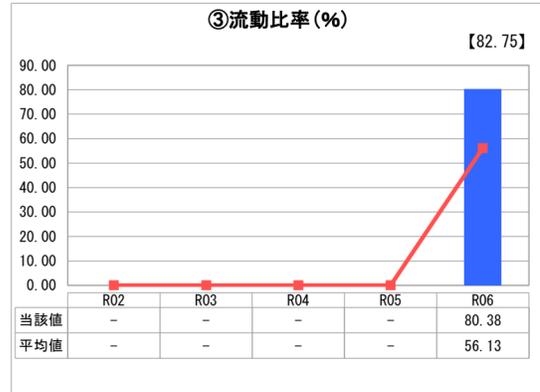
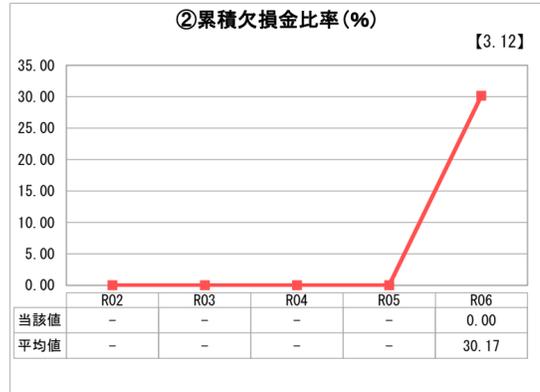
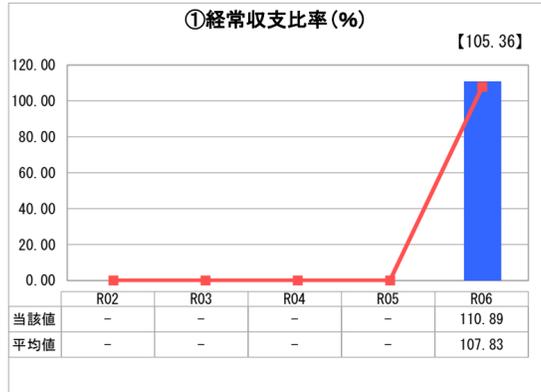
福井県 高浜町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	75.91	80.89	91.17	1,980

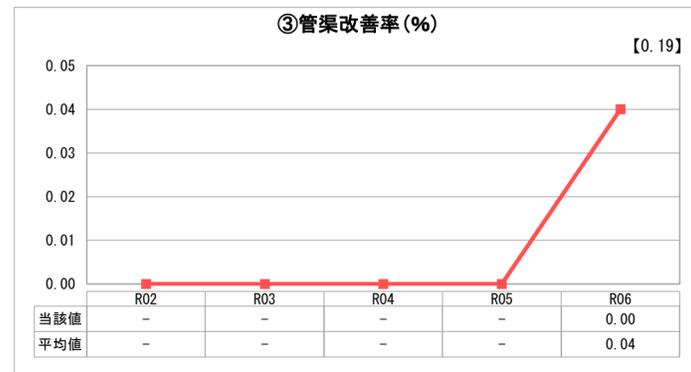
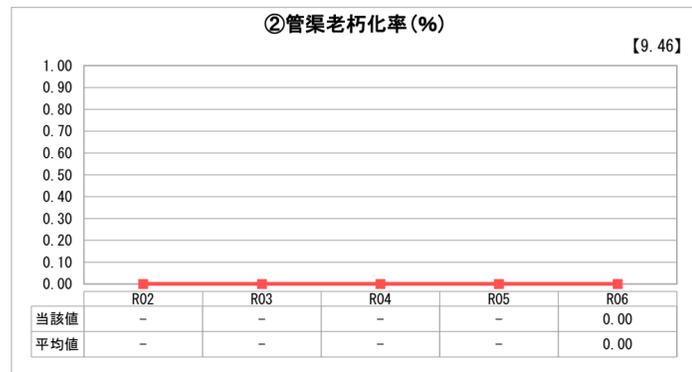
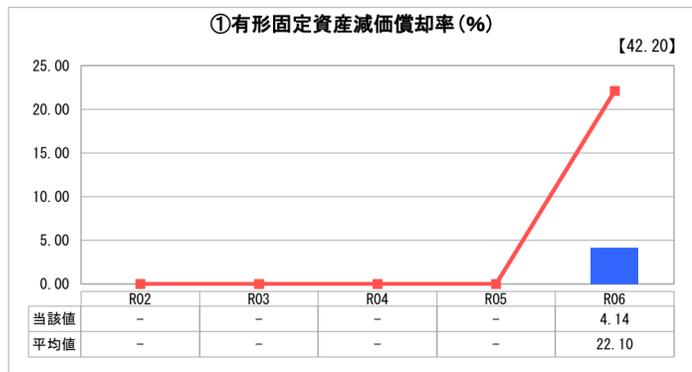
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
9,544	72.40	131.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,655	4.33	1,767.90

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和6年4月1日より公営企業会計となった。

① 経常的収支比率
100%以上であり、今後も健全な経営を続けていくために費用の削減に努めていく。

② 流動比率
類似団体平均値を上回っており、1年以内に支払う必要のある負債を十分な資産でカバーできている。

③ 企業債残高対事業規模比率
類似団体平均値を上回っているが減少傾向にある。今後も多額の借入れは予定していないため、徐々に下降していく見込み。

④ 経費回収率
100%未満であり、また、総収益の約60%を占める一般会計からの負担金がなければ、総費用を補うことができない状況にある。よって、料金改定による収入の増加を検討するとともに、施設維持管理にかかるコスト削減に努めていく。

⑤ 汚水処理原価
類似団体平均値を上回っており、施設修繕費等の増加に伴い、汚水処理原価も上昇した。

⑥ 施設利用率
ここ数年は減少傾向にあり、今後も汚水処理人口の減少により利用率が下降してきた場合は、ダウンサイジング等を検討する必要がある。

⑦ 水洗化率
類似団体平均値を上回っており、住宅新築等により微増傾向にある。今後も公共下水道への接続を推進していく。

2. 老朽化の状況について

① 類似団体平均値を下回っているが、今後は資産の更新や新規取得の進展に伴い、減価償却費は段階的に増加していくことが見込まれる。

公共下水道は平成11年4月から供用開始し、その管路整備は平成5年度から実施している。

現状では、管渠の対応年数50年を経過していないため、老朽化対策等は実施していないが、処理場等の機械・電気設備の修繕が多くなってきたことから、日常点検と合わせて、ストックマネジメント計画に基づいた施設管理を実施している。

全体総括

当町の公共下水道施設は、夏の観光シーズンの処理人口を想定した施設規模となっているため、類似団体との比較では差が出てしまう指標がある。

現状、使用料収入だけでは到底賄い切れず、一般会計からの負担金によって経営が成り立っている状態にある。

令和6年度から公営企業会計となり、独立採算性を考慮すると、更なる財源確保に努めなければならない。

よって、収入の増加のための料金改定を数年後に実施することを検討しており、また、施設維持管理等の支出についても、日常点検により施設の状態を確認しながら、ストックマネジメント計画に基づいて修繕・更新していくことでコスト削減に努め、安定した経営を目指していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。